

○ 東日本大震災 食の弱者救いたい

(2011年3月21日)【中日新聞】【朝刊】【その他】



アレルギー患者に非常食 名古屋のNPOが配送

東日本大震災の被災者には、卵や牛乳、小麦粉などに強いアレルギーがある人も少なくない。一般的な非常食を口にすると命にもかかわる。NPO法人「アレルギー支援ネットワーク」（名古屋市中村区）は、アレルギー患者も食べられる非常食を現地に届け続けている。

栗木成治理事らは震災直後に被災地入りし仙台、盛岡、福島の3カ所に、アレルギー患者向け非常食の集積所を作った。卵や小麦などを使っていない「アルファ化米」3千食分や、アレルギー患者も食べられる非常食、アレルギー成分を取り除いた粉ミルクなどを直ちに配送。20日にも第2陣として、アルファ化米2500食分を届けた。

現在は人手が足りないため集積所まで受け取りに来られる人に限定し、物資を提供している。今後はバイクを運転できるボランティアを募り、各地の避難所などに配達することを検討している。

栗木理事によると、何らかの食物アレルギーがある人は、全国平均で2～3%、都市部では5%。40万人近い今回の避難者のうち、1万～2万人はアレルギー患者の計算になる。

栗木理事は「卵やミルクアレルギーの人は、一般的な非常食のビスケットや乾パンはほとんど食べられない。空腹に耐えられずに食べてしまうと、ショック死もあり得る」と話す。



食物アレルギーがある人のための非常食を被災地に運ぶ栗木理事＝名古屋市中村区で

被災地では入浴ができないために、アトピーの症状が出たり、ぜんそくの悪化を訴える人も増えている。被災のショックから母乳が出なくなった母親も報告されている。

今後は、すべての避難所に相談窓口の電話番号を記したポスターを貼り、アレルギー患者用の非常食を届けるほか、かゆみを抑制する下着やマスクの配布、健康相談も行う。



非常食の購入、配達には1回の援助で100万円近くかかる。栗木理事らは、資金的な援助のほか、ポスター掲示や物資の配送を手伝ってくれるボランティアを募っている。問い合わせは、同ネットワーク＝電052（485）5208。

アルファ化米 1度炊いた米を乾燥させた非常食で、お湯や水を入れるだけで食べられる。味付けもされており、アレルギー対応食は、小麦や卵などのアレルギーの原因となる食材を使わず製造されている。

関連情報

この記事のジャンル：[子ども](#) > [発達障害](#)

▶ 同じジャンルの最新ニュース

- [発達障害正しく知って](#) (2011年4月3日) 
- [東日本大震災 自閉症の子持つ家庭孤立](#) (2011年3月27日)
- [三重 発達障害児支援 取り組みを報告](#) (2011年3月20日)
- [福井 発達障害児ら支援](#) (2011年3月12日) 
- [発達障害児 目立つ向精神薬処方](#) (2011年3月10日)